

性暴力被害者支援にむけて視察にいきました ～女性の体と心をケアするために～

◎ SACHICO (性暴力救援センター・大阪/大阪府松原市)

8月28日、2010年春に全国で初めて誕生した24時間対応の性暴力救援センター(阪南中央病院内)を訪れました。支援員(女性)が電話相談を受け、いつでも産婦人科医(女性)の診療を受けることができます。被害者が望めば、弁護士やカウンセラーなどにつなぎ、了解があれば、警察への通報を行い、警察官がSACHICOに来て被害者に事情聴取をします。開設以来、電話相談・来所相談とも多いとのこと。写真はSACHICO代表の加藤治子さんとです。



◎ まつしま病院 (女性と子どもの病院/東京都江戸川区)

9月30日、病院スタッフ全体で「暴力被害と女性の健康」に取り組んでいる「まつしま病院」を訪問しました。5年前に改築された病院は明るくて機能的。24時間、産婦人科医(女性)がおられます。情報を提供し、援助を求められたときには最善の方法をともに考え、ご本人が必要とされるときには協力機関と連携されます。



こんなスポット「岡山市市民ゴルフ場」

岡山市から山陽町に向かう旭川の中州に、1956年にスタートした「岡山市市民ゴルフ場」があります。渡し舟で川を渡ると鮮やかなグリーンが目に入り気持ちがいい。市民憩いの場ともなっています。このゴルフ場の下には、水道局の集水管が埋設されているので(川向に三野浄水場)、農業が一切使われていません。



ゴルフ場の運営主体である(株)岡山市水道サービス公社が今年度をもって解散されるので、ゴルフ場廃止が岡山市の方針でしたが、9月議会に存続を求める陳情があがりました。存続の方法を考えるということで継続審査となっています。(N・O)

編集後記 ◆ 伝統文化を受け継ごうと、津島学区で「津島はっさく踊り」が行なわれています。なんとか四拍子だけでも踊れるようになりたいと思いましたが、まだまだ先は長い。でも、花笠をはじめかぶらせていただいて、嬉しかったです。◆ 今年度から津島学区栄養教室に参加をすることにしました。でも、見事に議会関連の会合と重なり、ようやく9月の教室に参加できました。テーマは「骨粗鬆症」。準備されたカルシウムたっぷりの献立は色鮮やかで美味しかったです。



※鬼木のぞみの活動日誌は、ホームページをご覧ください。http://yaplog.jp/niji_oni/ 携帯でもどうぞ。

のぞみ日誌から

御津河内産廃処分場建設計画地の視察

8月3日、市民ネットのメンバーと、御津・河内に計画中の産廃処分場建設地の視察に行きました。清々しい空気が心地よいところに、日本最大級の安定型処分場が計画されています。足守にある安定型処分場とその下にある池にも行きました。清々しい…と感じることはできませんでした。

「蜂谷道彦顕彰碑」除幕式

8月6日、富原公民館であった「蜂谷道彦顕彰碑」除幕式に参加。蜂谷さんは富原のご出身。広島の逓信病院院長を勤めておられる時に、原爆投下にあい、ご自身も被曝するなか、患者の治療に当たられた医師です。その経験を書かれた「ヒロシマ日記」は世界18カ国に翻訳され、原爆をこの世から無くすことを訴えられました。



〈チューリップの会〉研修旅行

8月27日、チューリップの会(支援の必要な子ども達の社会参加を考える会 in 京山)の研修旅行があり、子どもたち・保護者・サポーターの皆さんと、県北・ノースヴィレッジに行きました。パン作り体験、アスレチック、動物とのふれあい…。子どもの頃はパン屋さんになりたかった私です。



ボクサーの妹/猪崎かずみが2年ぶりの試合

9月6日、2年ぶりに妹がタイで試合をしました。ABCO(WBOアジア)女子フライ級のタイトルマッチです。対戦相手は妹の高校3年生の娘と同じ年。試合は残念ながら判定負けでしたが、故障した体のリハビリを続けながら復帰。本当によくがんばりました。



福居ふれあい祭り

10月2日に、私が暮らしている地域の第3回「福居ふれあい祭り」が行なわれました。「地域の人同士の出会いとふれあい」が目的の企画です。文化・芸術・食欲とふれあいの秋を満喫。舞台、バザー、企画etcが、年々バージョンアップ。地域の皆さんの温かな心意気を感じます。

岡山市議会議員

会派：市民ネット

No.18

2011年9月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2011年10月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-242-5244 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
Email:hopequal@po7.oninet.ne.jp http://yaplog.jp/niji_oni/

市民とともに地域に根ざした防災対策を

台風12号が13年ぶりに岡山県に上陸。岡山市にも、大きな被害をもたらしました。私が暮らすお隣の学区でも避難勧告が出されましたから、私にも様々な電話やメールでの問合せがありました。市役所には電話が繋がらないとも…。

被災現場や避難所では、職員・消防団・地域の方をはじめ、皆さん一生懸命に働いておられましたが、多くの課題が散見されました。

避難所に、時間的に遅くなってから職員が配置されたり、仕事が掛け持ちになり一時的に職員が不在になったり。また、避難所で職員が何をすべきなのかが徹底されていないように感じました。そして、避難所に情報が届かないなど。

高齢者が家に残された話も聞きました。障がい者、外国人への配慮はどうだったのか。

東日本大震災をうけて、岡山市においては、大災害に対する地域防災計画見直しの最中でしたが、それよりも何よりも、根本的なところでの防災対策の脆弱さが浮き彫りになりました。



大震災から半年の9.11脱原発パレード

さっそく9月議会質問にもとりあげ、職員の配備体制の全庁的な見直し、避難所の管理運営マニュアルの作成、職員の避難所開設訓練や研修の実施、余りにも広範囲である避難エリアの検討などを提案しました。

今後予定されている避難場所の現地調査の実施のなかで地域の方々の意見を聞く。また、避難所運営マニュアルの策定ができれば、地域説明会や出前講座を予定しているとのこと。市民とともに地域に根ざした計画をたてなければ、災害時への対応はできません。

* * *

この秋、嬉しかったことが二つあります。市民の皆さんの地道な取り組みが実を結びました。

一つは、今年度中に「戦災資料館(仮称)」が、デジタル・ミュージアムのなかに開設されること。ずっと働きかけてきたことなので、ようやく…との思いで、ほっとしました。

もう一つは、2014年に行なわれる「国連ESD(持続可能な開発のための教育)の10年」総括会議が岡山で開催され、開会式と実質的な討議の会合が行なわれることです。未来につながるよう、しっかりと準備をしていく必要があります。

おにき・のぞみ



※月2回程度FAX・メール通信を発行しています。希望される方は、事務所までご一報ください。

9月議会 個人質問から

質問項目

1. イノシシ対策について
2. 東日本大震災に関わって
3. 男女共同参画について
4. 多文化共生について
5. 子どもをめぐる教育環境について
6. 旧内山下小学校跡地
7. 図書館について



男女共同参画

Q さんかく岡山中、この夏、「ジェンダー統計」という連続講座が行なわれました。「さんかくプラン」の指標において、市民生活の主要分野を各所管部署にわたり網羅的に取り上げるべきではないか（例えば、「都市公園等の総数」等）との指摘がありました。有意義であると考えますが、参考にしては。市民意識調査においても、ジェンダー統計を行いませんか。



市民局長 男女別に実績を集計するなど参考となる点があると考えています。現在策定中の第三次さんかくプランの中で検討していきます。

Q 子ども対象「Kids 向けサイト」を作っている自治体があることも教えていただきました。男女共同参画<子どものページ>サイトを作ってみてはいかがでしょうか。

市民局長 子どもの頃から男女共同参画の理解を深めることは重要だと考えており、現在策定中のさんかくプランにおいて取り組むべき検討項目であると考えています。

後楽館高等学校

Q 後楽館高等学校が、校舎移転とともに来春より、4年制の定時制から3年制の全日制に移行しようとしています。自由で自律的でゆとりのある校風が変わるのではと心配する声が寄せられています。

移行の根拠として、2005年度から就労学生がゼロになったこと、夜間時間帯をとる生徒が少なくなったことをあげています。正規就労が難しい状況下で、就労にアルバイトは入っていますか。現在、夜間の時間帯に34人の生徒が在学していますが、この子ども達は岡山市の大切な宝なのではないですか。

教育長 後楽館については社会のルールが学校のルールという大きな考え方の中で、アルバイトをしている生徒がいるとは思いますが、数値については確認できていませんし、学校として認めているということではありません。全日制になると、昼間の授業数が増え選択幅が広がるので、夜間の授業時間は必ずしも必要でないと考えています。生徒一人ひとりに適切に指導します。

私は反対しましたが、9月議会ですべての決りが決まりました。不登校・発達障がい・外国人・中途退学など多様な子どもたちに、岡山市として教育環境整備が必要です。

東日本大震災

Q 食材とガレキなどの経済流通による放射能汚染拡大は深刻です。

持ち込まれるガレキや産物の抜き打ち検査をすべきではないですか。こうした話は、市民・議会にしっかり公開し、討議を。

環境局長（先にあった答弁通り）ガレキの広域処理については、市民の健康と安全を第一に考え、慎重に対応してまいります。



↑子どもたちを放射能から守る福島ネットワークの中心メンバー代表と

県外から産業廃棄物を搬入する場合には、市内搬入前に排出場所・産業廃棄物の種類等を確認していますが、放射能汚染が懸念される場合には、排出元での検査実施などを求めています。

Q 放射能は子ども達に大きな被害をもたらしますので、学校給食の安全性は大切です。教育委員会で食材の独自検査を行なうか、学校給食会に働きかけませんか。

教育長 出荷元自治体において厳しい出荷制限があるので、岡山市内へ流通することは考えにくい。汚染された農産物等の流通が確認された場合には保健福祉局と連携し、対応していきたい。

安全性を追求していきます。



福島県で素晴らしい人たちと出会いました

8月9日～11日、福島県のいわき市と郡山市を訪問しました。小さな子どもから高齢者、そして自治体トップまで、「自ら情報を集め、判断し、行動する」ことが求められていることを痛感しました。「国の…、他の自治体の…研究しながら」では、自らの生命と財産を守ることはできません。

*江尻・小名浜支所長／いわき市小名浜支所管内は、津波による大きな被害に遭ったところ。通信回路が寸断され、本庁舎の災害対策本部からは何も指示が届かなかったそうです。不眠不休の活動を通して、絆作りと防災教育の充実。ローテクを大切に、人が実際に動くことができる防災マニュアル作りをとご提言くださいました。

*小野・好間保育所所長／「自然は子どもの教科書。自然豊かなこの地で保育活動を展開し始めたところ。子どもたちが外遊びをできなくなったのは大人の責任」と所長さん。外遊びを補う工夫、放射線量を常に測りながら、細やかに配慮しての環境整備・給食食材。子ども達へのほとばしる愛情いっぱいでした。

*猪狩・川内村副村長／川内村（人口3000人）は、1/3が警戒区域（人口350人）、2/3が緊急時避難準備区域。現在は、郡山市の「ビッグパレットふくしま」内に「川内村災害対策本部」を置かれています。相次ぐ原発事故情報に、屋内退避区域でありながら国の方針と異なる全村避難を、村は決断。自治体トップの決断とリーダーシップの大切さが身にしみました。

*志田・ハーメルンプロジェクト代表／放射能被曝から子どもを守るため、避難をしよう、行動しようと呼びかけておられます。放射線量が低いところへの避難は一時的にでも大きな効果あり。外遊びができない子どもたちも自然のな

かでリフレッシュできるということで、夏休みは、北海道から沖縄まで、全国各地で子どもたちの受入企画が行なわれ、橋渡しを行なわれました。

津波被害によるガレキ・土砂を撤去している現場です。おもちゃや茶碗のカケラなど、被災に遭われた皆さんの生活がみえて、辛かったです。（いわき市にて）

開かれた岡山市議会を！ ～議会改革に向けて～

9月議会において、議員定数46議席（6議席減）、報酬4万円カットが決まりました。私自身は「多様な意見を反映する」という意味で議員定数は少なくとも現状維持（52議席）が望ましいという見解でした。しかしながら、議会内には様々な意見の方がおられ、現実的により多くの議席数をという判断から、46議席に賛成しました。議員報酬4万円カットは全会一致です。

現在は、議会基本条例の制定を柱に、本会議・委員会のインターネット中継、本会議への一問一答方式などの導入、議案への賛否の公表、議会報告会の実施等が、議会改革等推進会議で検討されています。本来は、こうしたことを決めてから、議員定数を検討すべきであったと思っています。私も推進会議のメンバーとして、市民参加の開かれた議会をめざして提案を行なっています。皆さんもご意見をお寄せください。

「市税条例改正」への「修正案」提案議員に ◇9月議会では、国の法改正によって提案された「市税条例等の一部を改正する条例」に対して、「過料の新設」と「上限の引き上げ（現行3万円以内から10万円以内）」の部分を削除した修正案を出し、私もはじめて提案議員として名前を連ねました。市民にペナルティとしての過料を科すこと＝市民の権利が制限されることには慎重にならなくてはなりません（この条例において、未だ一度も過料を科したことはない）。そして、国が決めたから…というのではなく、自分たちのことは自分たちで考えて決めて実行していかなければなりません。残念ながら否決されましたが、これからもよりいい施策を求めて、議員サイドからの提案を行なっています。